

平成21年度 学校自己評価システムシート

達成度	A ほぼ達成 (8割以上)
	B 概ね達成 (6割以上)
	C 変化に兆し(4割以上)
	D 不十分 (4割未満)

目指す学校像	校訓「質実・英知・愛敬」を踏まえ、人格の完成を図るとともに、現代社会にふさわしい洗練された知性と、豊かな感性をそなえた人材を育成する。
--------	---

重点目標	<p>1. 学習意欲を向上させ、自主自立の精神を養いより豊かな人間性を身につけさせる指導を行う。特に自学自習の習慣化については個々の状況を踏まえ定着を図る。</p> <p>2. 生徒一人一人の能力や適性を生かした進路指導の実現を図るため、生徒の進路意識を更に深化させるとともに、一般受験を中心とした指導により一段高い進路実現に結びつける指導を行う。そのため、進路指導部と各学年との連携を密にする。</p> <p>3. 「学校生活の充実」を合言葉とし、授業・HR活動・学校行事・部活動・ゼミ・資格取得など、本校教育全般にわたり、学力及び体力の向上を図り、きめ細やかな指導により、生徒に達成感（成就感）を与える教育を行う。特に「7つの習慣J」については組織的に取り組む。皆勤・精勤を奨励する。</p> <p>4. 生徒の心情をよく理解し、その実情を踏まえ、確かな常識を身につけさせるような指導を行う。非社会的・反社会的行動の未然防止に努めるとともに、特に、あいさつの励行をはじめとして、本校生徒指導の根幹である「しつけ教育」について一致した指導方針のもとで、生徒・保護者や地域の期待に応える指導を行う。特に、いじめの発見にはアンテナを高くして情報収集に努め、拡大を未然に防ぐ。生徒一人一人の能力や適性を生かした進路指導の実現を図るため、生徒の進路意識を更に深化させるとともに、一般受験を中心とした指導により一段高い進路実現に結びつける指導を行う。そのため、進路指導部と各学年との連携を密にする。</p> <p>5. 生命を尊び、他を思いやる心・感動する心を持ち、コミュニケーション能力・協調性など、たくましく生きるための力を身につけさせる指導を行う。全職員が教育相談技術を向上させてこれらの指導に当たる。</p> <p>6. 保護者会・三者面談・授業公開など、あらゆる機会をとらえて本校の教育方針や指導の重点目標を課題として取り上げ、保護者等と積極的な連携を図る。</p>
------	--

学 校 自 己 評 価							
年 次 目 標				年 度 評 価			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	・共学化2年目となり、昨年度にも増して学校生活の改善が必要である。 ・7つの習慣Jの授業の充実	・授業時間の確保 ・HR活動の充実 ・生徒の自主性の育成	・QUを利用したHR経営と7つの習慣Jでの心の教育。 ・部活動、学校行事等への積極的参加	・人間性豊かで他を思いやる生徒が増えたか。 ・学校行事の出席率100%。 ・部活動の関東大会・全国大会への出場>	・学校行事に対するクラスでの取り組みに協調性がみられる。 ・全国大会・関東大会7部活動	A	・自習時間の減少を目指す。 ・7つの習慣Jの更なる充実 ・部活動等の設備の充実
2	・正しい制服の着用と樹姿の向上。 ・いじめの撲滅と不登校生徒の減少を図る。	・服装・髪型の指導。 ・生徒の意見や悩みへの適切な対応。	・長期休業後の学年による服装・髪型検査とその後の指導の徹底。 ・カウンセリングや個別面談の充実。	・髪型・服装の正しい形や着用の向上が見られたか。 ・不登校生徒の人数やカウンセリングを受けている人数。	・朝の校門指導や、日頃の教員による指導の効果が見られ向上している。 ・保護者との密な連絡等により、不登校生徒の改善が見られた。	B	・今年度の取り組みを継続し、教職員の共通理解を深め、徹底化を図る。 ・保護者との連携を密にし、早期発見に努める。
3	・生徒個々の能力や適性を生かした進路指導の実現を図る。 ・一般受験者の指導の充実を図る。	・生徒の進路指導の達成 ・学力の向上と自学自習。	・進路ガイダンス、大学出陣講義、進路相談会等の充実 ・受験対策講座・長期休業中のゼミの取り組みと、家庭学習の習慣化。	・現役進学率98%し、内大学進学率は76%とする。 ・受験対策講座等の出席率100%、与えられた家庭学習時間の実行率50%の達成	・現役進学率96%、大学進学率79%を達成。 ・特別進学クラスはほぼ100%を達成 ・1学年 19.0%、2学年 5.8%、3学年31.2%の実行率	B	・更に大学進学率の向上を目指す。 ・総合進学クラスの受験対策講座のあり方、家庭学習の達成率低下の究明し、向上を目指す。
4	・開かれた学校を目指し、学校からの情報発信を推進する。	・学校HPの活用、学校公開、学校説明会の実施。	・学校の様子をHPでタイムリーに公開する。 ・10月に学校公開を行う。	・HPの見易さと、情報の即時公開性。 ・保護者の参加数	・HPに関してはほぼ良好。 ・学校公開を土曜日にも設定することで、参加数が増加	A	・HPの情報公開を更に充実させる。 ・学校公開串刺し保護者対象の講演等を設定する。